

9月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

# 議会だより だいせん 70号

2022年10月27日発行  
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>

令和3年度 決算を認定 .....	4~6・10
13人が一般質問 .....	15~22
特集 議長・副議長にきく .....	24~25

Uターンの若者がチャレンジ

# 「生ごみ出しま宣言袋」など補正予算を可決

9月  
定例会  
ダイジェスト



## 条例

### 印鑑条例の 一部改正

マイナンバーカード（個人番号カード）を使って、コンビニなどに設置されている多機能端末から印鑑登録証明書を受け取ることができるようになる。

令和5年  
1月20日～



## 補正予算

### 小型除雪機 購入費補助事業

令和4年度補正予算  
200万円

自治会が購入する  
小型除雪機に  
1/2補助 上限100万円



## 補正予算

### 生ごみ出しま宣言袋とは

生ごみを自家処理し、ごみとして排出しない世帯に、「生ごみ出しま宣言袋」（生ごみ以外の可燃ごみ専用袋）を年間80枚無料配布する。令和5年4月から実施される。令和4年度補正予算37万3千円

生ごみ出しま宣言袋

生ごみが入っている場合は収集しません！！

この袋に入れて出すことができるもの

- 生ごみ以外の可燃ごみ（布類、柔らかいプラスチックなど）
- 生ごみ処理機で乾燥し減量・減容した後のもの
- 堆肥化できないもの（食肉の骨、貝殻など）

氏名  宣言番号

大山町

取扱上の注意

警告 △ この袋は、幼児や子供にとって窒息などの危険が伴うものです。幼児や子供の手の届くところに置かないで下さい。

注意 ● 突起物のあるものを入れると材質上破れることがありますので、ご注意ください。● 可燃物ですので、火のそばに置かないで下さい。

この袋はポリエチレン製で燃焼です。焼却しても有害ガスは発生しません。この袋は燃焼色を食んでおけません。

## 報告

### 庄内保育所の閉所が決定

8月の定例教育委員会で、庄内保育所を令和4年度末で閉所する方針決定がされ、議会に報告があった。

庄内保育所の今年度園児数は21人と少なく、存続には大規模改修が必要だった。閉所後は、園児は主に、名和さくらの丘保育園への入所が見込まれる。



## 補正予算

### 生ごみ処理機等購入費補助

生ごみを出さないと宣言した人が対象  
令和4年度補正予算253万円

令和4年10月  
～令和6年度

電気式  
生ごみ処理機

4/5補助  
上限5万円

コンポスト

4/5補助  
上限6千円



# 令和3年度 決算はどうだった？

## (歳入について)

歳入総額は129億9702万円(前年比8億8331万円減)でした。ふるさと応援寄附金が好調で5億36万円の収入がありました。

## (歳出について)

歳出総額は121億5190万円(前年比12億2892万円減)でした。一般会計基金総額は64億2234万円になりました。

## 決算審査・議員はココに注目した part1

### 大山参道市場運営事業

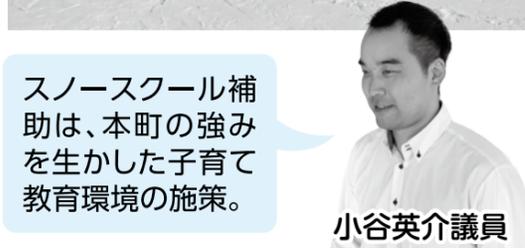
5年間の指定管理委託契約は **1149万円**  
令和4年度まで。



指定管理委託料1000万円は適正か。売上は議会に報告すべき。

### 町民スキー誘客事業

18歳以上の町民に、リフト券購入補助、スノースクール利用補助を行った。 **494万円**



スノースクール補助は、本町の強みを生かした子育て教育環境の施策。

### 耕畜連携

町内産堆肥利用補助金(5000円/2t)の活用で、さらなる利用拡大を。



### リフォーム等助成

決算額1804万円。コロナ対策で建築分野など町内の消費喚起ができました。



### ふるさと納税

寄附金収入5億36万円は県内でも高い数字で素晴らしい。



### 社会体育

スポーツ指導者の育成が不十分。強い種目には集中支援も重要だ。



### ICT活用

ICT(情報通信技術)の活用で役場業務の改革を進めてほしい。



### 高齢者の健康

医療介護費用の軽減のため、高齢者の健康づくり推進が欠かせない。



### ハンドル型電動車いす購入補助 **62万円**

運転免許証を自主返納した人に1/3助成。

行動範囲が広がり、畑にも行けて喜んでいきます。



(王新由美子さん、飯戸)

### 大山町内に泊まろう！ 宿泊応援事業 **1879万円**

一人1万円割引 延べ3528人が利用。

コロナで合宿の中止が相次ぎ、苦しい状況でしたが、この事業に救われました。企画して下さったみなさんに感謝しています。



(川床屋・小椋康三さん、大山寺)

### ふれあい倶楽部遊具更新工事 **1683万円**

町民の声を聞きながら遊具を更新。

以前の遊具は古くなり心配だった。新しく小さい子も遊べるようになって楽しく使っています。



(中川知世さんファミリー、中山口)

### リノベーション創業支援補助金 **1000万円**

空き家などを改修して創業する事業者に上限500万円を補助。

地元での起業の後押しになりました。地域を盛り上げていきたいです。



(イチベーカリーさん、妻木)

## 決算審査・議員はココに注目した part2

### コロナ交付金事業 総額2億1499万円

コロナ対策が的確に展開されました。



大森正治議員

### 安心な道づくり 街灯設置事業 453万円

通学路を中心に、安心安全に寄与しています。



森本貴之議員

### デマンドバス事業

スマイル大山号:運行日数295日(一日15便)  
利用客数5135人

3356万円



米本隆記議員

使い便利が悪いとの声も。利用者の声を今後の改善につなげてほしい。

### 総合文化祭 201万円

入場者約2600人

コロナ禍でも工夫しての開催ができました。



吉原美智恵議員

### 決算関係質疑

#### 病児・病後児保育

問 通園児以外の利用は。  
答 病児保育の利用は5人中0人、病後児保育は12人中2人あった。

通園児以外も利用可能になり、子育て世代のサポートが充実した。



池田幸恵議員

#### デジタル教科書

問 導入後の教職員や生徒の評判はどうか。  
答 教員から、動画などコンテンツが充実していて、生徒の興味関心が高まった。使いやすく授業準備が短縮できたなどの声を聞いている。

今後、活用の成果が期待できます。



門脇輝明議員

#### 電動自転車購入

問 今後の活用、方向性は。  
答 今年度、レンタサイクル(無償)の検証で活用している。来年度以降、有償活用も考えている。

当初、購入の経緯に疑問があった。今後は民間での実証実験に期待している。



西本憲人議員

#### 基金総額

問 基金総額64億円は多すぎないか、基金活用の計画は。  
答 財政の安定を考えれば多すぎではない。今後、施設の解体、維持管理の費用に当てていきたい。

人材育成のために、もっと積極的に活用してほしい。



近藤大介議員

チエツクします

# 9月定例会 議案の質疑・討論



そばがメニューに仲間入り

### 道の駅・備品購入

食堂で「大山そば」を販売するため、ゆで麺機を購入する 予算額2009万円。

【吉原議員】道の駅の食堂で「大山そば」を新メニューに取り入れる目的は。  
【観光課長】町内産そばの消費拡大をはかるため、ゆで麺機を高いていきたい。



グラウンド芝生化が順次進められる

### 大山西小グラウンド改修

実施設計にあたり、工事費が当初予算4819万円から50352万円に増額された。

【大森議員】工事請負費が1.7倍の増額になった理由は。  
【幼児・学校教育課長】児童の安全を考慮し、遊具の周辺も芝生化することにした。

また、試掘の結果、路盤がないことがわかり、排水機能の確保のため、表層の下に厚さ10cmの砕石路盤を新設する必要が生じたため。

### ふるさと納税業務の外部委託

寄付受付、返礼品発送、事業PRなど業務の全般を民間事業者に委託する。

【森本議員】ふるさと納税業務を外部委託する目的は。  
【企画課長】民間のノウハウを生かし、PRや新しい返礼品開発による寄附額の増加を狙う。

### 生ごみ処理機に補助

生ごみ減量、再資源化の意識高揚のため、購入費用の4/5を補助する。

【西本議員】段ボールコンポストや木製の生ごみ処理容器なども対象になるのか。  
【住民課長】「5年間、生ごみ出しません」という宣言をすると対象になる。

### 地域活性化起業人の活用

総務省の制度を使い、都市部の民間企業から人材を受け入れる。

【小谷議員】相手先や政策課題など、取り組みの方針は。  
【企画課長】具体的な連携先はこれから選定予定。



中学生のやりたいを形に

### 子どもと楽しいまちプロジェクト

慶応大学との連携で、子ども目線での地域課題解決に取り組み。

【吉原議員】委託料として87万円を支出しているが、どのような事業を行ったか。  
【企画課長】令和3年度は、コロナ禍で子どもと一緒にの事業はできていない。

### 大山チャンネル

大山チャンネル作成委託料2596万円。

【近藤議員】大山チャンネルの視聴状況について、アンケート結果はどうだったか。  
【企画課長】429人から回答があり、74%が大山チャンネルを見ていて、「ほぼ毎日見ている」または「週に数回見ている」が、

### 野良猫不妊・去勢手術補助金

飼い主がいらない猫に、不妊・去勢手術を受けさせる取り組みを支援した。

【池田議員】周知はどのようになっているか。  
【住民課長】広報だいでせと契約し、連携しながら、ホームページで周知やっている。

### 観光案内業務

大山への観光客に、各種案内、パンフレット送付、宿泊あっせんなどを行う。委託料1045万円。

【門脇議員】大山観光局に委託している観光案内業務について、観光の顔として、担当者への研修はどのように行っているか。  
【観光課長】役場からの研修はない。大山観光局で研さんを積んでもらい、業務に生かしてもらっている。今後は、研修についてもチェックしていく。



大山の顔として、求められるホスピタリティ

### 地方創生アドバイザー

慶応大学と鳥取県、日本財団が共同開発した「つながりの豊かさ指標」を活用し調査した。事業費119万円。

【小谷議員】コロナ禍での住民実態調査をしたとあるが、どのような結果だったか。  
【企画課長】コロナ禍の町民の実態として、運動不足や家計の負担増などがある。関心事としては少子高齢化や、空き家対策などがあることがわかった。

### 浜の上回地(県営住宅)

中山地区にある第一回地16戸を本町が管理している。

【西本議員】空室があるようだが、募集していない。移住希望者などに需要があるが、入居はできないか。  
【建設課長】住宅の耐用年数である築30年が近く

## 討論

### 令和3年度 一般会計決算

### 反対討論

【近藤議員】基金を新たに5億3千万円積み増しているが、もっと有効に使えたのではないか。  
令和3年度の出生数は70人、うち中山地区は10人だ。子どもいない集落が増え、地域の担い手不足が深刻になっているが、町行政に危機感が見られない。  
【大森議員】同和对策関連事業は認めることができない。同和問題は、社会問題としては基本的に解決してきている。固定資産税の減免など、同和地区に限定した事業の効果は疑問である。

### 賛成討論

【吉原議員】宿泊応援事業や、工夫して開催された文化祭、コロナワクチン接種事業など、大きなミスもなく行われた。  
同和問題は解決しておらず、ネット上での誹謗中傷、結婚問題など当事者は一生の傷を負う。実態をよく知り、人権学習を続けていく必要がある。

### 令和3年度 診療所特別会計決算

### 反対討論

【近藤議員】4338万円の赤字で、コロナ以前に比べて赤字額が2倍以上になっている。赤字額は年々増えている。担当課は今後、診療件数が右肩上がりに増えると予測している。赤字が減ると計画するのは住民に対し不誠実である。

### 一般会計補正予算

### 賛成討論

【近藤議員】小型除雪機購入費補助金が新たに計上された。担い手不足の集落を支援する施策として評価する。  
原案では補助率が1/2だが、今後は2/3から4/5に補助を増やすことも検討すべきだ。

# 決算を認定

## 決算審査特別委員会

付託を受けた15議案は、分科会方式により9月12日から16日までの5日間審査し、さらに22日には委員全体で審査した。審査の結果、15議案すべてを認定すべきものと決した。

### 決算の特徴

主な歳入については、町税収入が、対前年度比0.8%減の15億7547万円、地方交付税が7.0%増の53億6000万円となっている。

主な歳出は、人件費が0.6%増の21億9534万円である。保育所運営費が、大山ひめぼたる保育園の開設により、1406万円増加した。

また、米価下落影響緩和対策補助金2456万円、町民が町内に宿泊する応援事業に1879万円など、新型コロナ関連の事業も多く実施された。

# みなさんからの請願・陳情はこうなりました

9月定例会で審査した請願・陳情の結果を報告します。

題名	提出者と請願・陳情内容	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
名和公民館のバリアフリー対策を求める請願書	大山町西坪 山下 昭治	本町における公民館施設の基本的な考え方は、いずれの施設も経年劣化が進行しており、近い将来に建替えが必要とされている。 名和公民館については、役場庁舎と一体で考えていく必要があることも示唆されており、財政面での検討課題も多く山積しているのが現状である。 採決の結果、全会一致で継続審査と決した。	継続審査
会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 大山町職員労働組合 執行委員長 角田 拓朗	<b>(採択とする意見)</b> 陳情の趣旨は理解できる。国として法改正を行い、短時間勤務の会計年度任用職員にも勤勉手当を支給できるようにすべきだ。 <b>(不採択とする意見)</b> 勤務条件は労使間協議で決すべきものであり、議会が介入すべきではない。 また、会計年度任用職員の任期規定を廃止することは、正規職員の雇用にも影響を与えるものであり、適切ではない。 採決の結果、採択2、不採択2の同数となったため、委員長裁決により、不採択とすべきものと決した。	不採択

## 監査委員の指摘と意見

代表監査委員 石黒 澄男  
議会選出監査委員 野口 俊明



意見書を町長に提出

**(指摘事項)**  
なし

**(監査意見)**  
なし

**検診率の向上**

各種健康診査事業や人間ドックへの助成事業に加えて、受診者の検診結果は、今後の検診率向上施策のバックデータと

なり得るので、基礎資料として整理されたい。

**観光協会**

令和2年度に続き、より効果的な観光事業を推進する組織への一本化など、今後の方向性の議論を慎重かつ確実に進められたい。

**地籍調査**

本町の進捗率は令和3年度末で約65%だが、山林部など困難が予想される。令和4年度からの先進的なりもトセシンクによる調査に期待している。

**指定管理**

運営コストが適切な水準で算出され、管理料が適切な金額なのかの視点で、別途監査を検討しているので、その際はご協力を。

**行財政改革**

ICTの活用などにより、業務負担の軽減など職員の働き方の見直しと、さらなる住民サービス向上を一体的に推進されたい。ふるさと応援寄付金額や件数は増えたいが、引き続き自主財源の確保に努められたい。

## 国へ提出する意見書

意見書名	意見書の内容(要旨)	提出先
肥料価格高騰対策と耕畜連携支援を求める意見書	1. 原油高騰対策の中で農林水産業の資材費・燃料費高騰対策を早急に講じられたい。直接的な国の財政支援を求める。 2. 緊急対策の柱として、影響が大きい肥料高騰対策を関係機関やメーカーと連携して推進すること。 また、肥料価格高騰時に対応するセーフティ・ネットの構築も検討すること。 3. 農林水産業の後継者の高齢化や減少によって、地方が衰退しないよう「みどりの食料システム戦略」の強化を求める。 特に耕畜連携による運搬・散布費用など堆肥の利用拡大に支援していただきたい。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣

### 9月定例会

# 常任委員会 の活動

## 総務 常任委員会

### 町税収納状況

Q町税滞納繰越分の徴収率増の要因は。  
A令和2年度は固定資産税の徴収猶予があり令和3年度に徴収したためである。コロナ禍による徴収猶予は令和2年度のみである。

税務課

### マイナンバーカード

Q発行率は。  
A37.6%と県下では低い方である。70代後半は51.0%と高いが20～30代は伸びていない。土日も手続きができる窓口を設けたが、申請手続きは0件であった。

総務課

### 遊休用地

Q遊休用地の取り組みは。  
A売却可能な用地に看板を立て、取り組みを進める。

財務課

### 医師住宅修繕の説明を受ける



名和診療所医師住宅

9月12日、13日、14日の3日間、所管する各課から令和3年度決算、補正予算などの説明を受け審査した。  
9月15日は地域活性化企業人の受け入れのために改修する医師住宅の確認をした。また高田工業団地の風力発電所・ゆで麺機の更新が予定されている道の駅の視察を行った。

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

## 教育民生 常任委員会

### ごみ減量化

Q生ごみ処理に対する施策と補助内容は。  
A生ごみを自家処理し、排出しないことを宣言できる世帯へ「生ごみ出しま宣言袋」を無料配布する。また、電気式生ごみ処理機、コンポストなどの購入補助を行う。

住民課

### 差別禁止条例

Q条例制定へ向けての今後の動きは。  
A専門家の助言を参考にするために、県弁護士会に人選依頼をするための予算を計上している。またパブリックコメントも募集する予定だ。

福祉介護課

### 大山西小学校グラウンド改修

Qグラウンド改修費増額の詳細は。  
A実施設計にあたって、学校、スポーツ少年団など関係団体との協議を経て、芝生植え付け面積が増えたことや、排水対策に必要な路盤の新設が必要になった。

幼児・学校教育課

### シルバー人材センターの現状と課題について



大山公民館で意見交換

9月12日から16日の5日間、所管する各課から令和3年度一般会計歳入歳出決算、令和4年度一般会計補正予算ほか事業の説明を受け審査した。

15日はシルバー人材センターとの意見交換を行い、現状と今後の運営などにおいての課題などを聞き取りした。また、町内各球場の管理状況などの視察を行った。

### 移動図書館車の購入

Q車両更新の詳細と利活用の方針は。  
A導入から20年経過している車両を更新するもの。軽自動車を導入し、より多くの職員が運転業務を行えるため、さらなる事業展開が望める。

社会教育課

### オミクロン株への対応

Qワクチン接種について今後の計画は。  
A国において薬事承認され、法改正を経て接種開始の見込みだ。10月～12月に計画している集団接種では、新たに導入するシステムでネット予約にも対応していく。

健康対策課

### 児童クラブの運営

Qなわっ子クラブに携帯電話を新規導入する目的は。  
Aコロナ禍の影響もあり、連絡がスムーズに行えない場面が増えた。閉室時間帯でもショートメールなどで業務対応ができるよう、他クラブと同様に導入する。

こども課

### ふるさと応援寄付金

Q過去最高額となったが今後の見通しは。  
A今後は返礼品の開発やPR力向上のため、外部委託によりさらに寄付額をのばしていく。

企画課

### 移住定住促進事業

Q空き家マッチングの実績は。  
A令和3年度は9件である。内訳は賃貸6件、売買3件、中山地区5件、名和地区3件、大山地区1件であった。

企画課

### 小型除雪機の購入補助

Q補助率の見直しはできないか。  
A補助を実施している自治体の多くが1/2としている。役場内の会議で決定した内容である。

企画課

13人が町長・教育長に  
一般質問を行いました。

# あなたの声を町政に

## ◆一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
16	1. 健康対策と医療費支援でいきいき元気な高齢者を	杉谷 洋一
	1. 議会を身近に	池田 幸恵
17	1. 本町における、ふるさと納税制度の現状と課題、また、今後の更なる推進について	森本 貴之
	1. 部活動の現状とこれからは	吉原美智恵
18	1. 大山町の地球温暖化対策について 2. 男性用トイレにサンタリーボックスの設置を	門脇 輝明
	1. 歩道が草だらけで通れない場所があるが対応は 2. 環境への取り組みについて	西本 憲人
19	1. コロナ禍に負けない教育について 2. 水産業振興の課題について 3. 副町長人事について	近藤 大介
	1. 肥料高騰対策支援事業について 2. 山陰道淀江IC跡地活用事業について	大原 広日
20	1. 地域ポイント・地域通貨を本町に導入しないか。 2. 本町の新型コロナウイルス対応について	豊 哲也
	1. まちの未来をつくる組織づくり、変化に強い組織づくりについて	小谷 英介
21	1. 健康ポイント制度事業について	島田 一恵
	1. 大山町から「平和」の発信を 2. 町外中学校への通学費にも補助を 3. 旧統一教会問題、国葬問題について問う	大森 正治
22	1. 人口減少対策の更なる充実を 2. 物価高騰対策の実施を	岡田 聡

# 一般質問席

## 経済建設 常任委員会

### 仁王道の遊具

Q遊具の安全点検方法は。

A点検資格を持つ設置施工会社が年一回行っている。今回、修繕が必要と診断されたターザンロープ滑車と砂場枠の修繕を行う。

建設課

### スタンプラリー

Q山陰鉄道開業120周年記念事業の実施内容は。

AJRと沿線市町が連携しスタンプラリーを実施する。記念事業の終着駅となる御来屋駅に期間限定でスタンプを置く。

観光課

### 大神山神社

Q重要文化財の大神山神社奥宮の修繕内容は。

Aテニスコート7面分の屋根の維持修理や、縁板や壁などの修理を行う事業者支援を行う。工事は令和7年までの予定である。

文化財室

### レンタサイクルの実証実験を視察



大山参道の大山時間ショップ

9月12日、13日、14日、15日の4日間、所管する各課から令和3年度決算、補正予算ほか事業の説明を受け審査した。

14日には、決算審査資料にある大山恵みの里の売り場拡充、マウンテンバイクコース整備、電動自転車の置かれている大山時間などを視察し確認した。

### タブレット購入

Q導入の目的と活用方法は。

A人農地プランが法定化され地域計画になり、農地活用の目標地図作成のため導入する。また農地パトロールにも活用し、位置情報を含む写真や現地入力など作業の効率化をはかる。

農業委員会

### 全国和牛能力共進会

Q第12回全国和牛能力共進会の鳥取県代表者に大会参加への支援内容は。

A本町から出品が決定した一頭に、育成費用など支援として15万円を贈る。また、庁舎に垂れ幕やのぼり旗を設置する。

農林水産課

### 浄化槽設置補助金

Q令和3年度の浄化槽設置数は。また、補助件数に制限はあるのか。

A5人槽3基、7人槽1基を補助した。設置の制限数はなく、今後も希望があれば対応する。

水道課

# 高齢者の健康対策と医療支援は

**町長** 一体的に取り組んでいきたい



杉谷淳一 議員

【杉谷】高齢者の健康対策と医療支援充実は。

【町長】集落に向いてのヘルスセミナーや軽運動などを実施している。

【杉谷】特定検診の受診状況および取り組みは。

【町長】令和3年度受診率は32.6%で、さらなる受診者増の対策を実施したい。

【杉谷】健康予防として保健師の集落対応は。

【町長】各種健康講座などを行っているが、集落対応や地域活動など福祉部門の体制の在り方を検討している。

【杉谷】地域医療を守

るため町内医療機関で人間ドック受診者に対しての助成は。

【町長】インセンティブ制度など検討したい。

【杉谷】人間ドックの助成制度がなくなる75歳以上の後期高齢者に対する支援は。

【町長】後期高齢者医療保険では助成支援がないので、前向きに検討したい。

【杉谷】生活習慣病の現況は。

【町長】脳血管疾患・脳卒中は全国平均を上回っている。健康づくりと介護予防を一体的に取り組んでいきたい。



集落での健康教室

# 議会だよりや議場の活用を

**教育長** 各学校に活用を投げかける



池田幸恵 議員

【池田】以前、新聞報道で自分の好きな新聞記事を10分間読む「朝新聞」が掲載されていたが、取り組んでいる学校とねらいは。

【教育長】大山中学校の全学年である。広く社会のことを知り、興味・関心を深めることで未来を生きる力を養うために取り組んでいる。

【池田】とても良い取り組みだ。町内全中学校で取り組まないか。

【教育長】校長会で検討したい。

【池田】18歳から投票率が可能になったが投票率は低い。

本町に興味・関心を持ってもらうためにも、身近なことが載っている「議会だより」を活用しないか。

【教育長】各学校に活用を呼びかけていく。

【池田】卓上だけでなく実践の場として、議場の活用は。

【教育長】生徒会や学級会などを議場でやってみるなど、子ども達の興味・関心を高めるうえで、効果的であると考えている。

各学校に活用を投げかけていきたい。



広い視野で学んでほしい

# ふるさと納税の自動販売機の設置を

**町長** コストバランスを考えて検討する



森本貴之 議員

【森本】ふるさと納税制度は、寄附を受ける自治体にとって貴重な財源である。

直近5年のふるさと応援寄附金の推移と、基金への積み立て額の推移は。

【町長】平成29年度と比較して令和3年度は、ともに約2倍以上となった。

【森本】企業版ふるさと納税の今後の展望と課題は。

【町長】令和6年度までは地域再生計画事業へ寄付を活用する。課題は寄付企業の新規開拓だ。

企業とのマッチング業

務委託を検討する。

【森本】制度の推進や人材育成など、事業に係る課題は。

【町長】サイト上で魅力を伝えられていないこと、職員数を毎年増減できないことだ。

外部委託により課題解決と寄付額増へつな



【写真提供】茨城県常総市 観光拠点でリアル集客を

# 部活動の地域移行問題は

**教育長** 委員会内で議論し検討する



吉原美智恵 議員

【吉原】少子化が進み部活運営が困難になるなか、国から令和7年度までに公立中の部活指導を地域に移行する改革が提言され、部活の在り方が問われている。検討は。

【教育長】委員会内で議論している。

モデルケースを設置しながら、移行する。

【吉原】指導者確保の問題は。

【教育長】指導者の絶対数が足りない。活動中のトラブルに対する責任の所在などの課題もある。

【吉原】部活の受皿となるスポーツクラブや民

間事業者と、学校をつなぐコーディネーターや人材バンクの考え方もあるのではないか。

【教育長】検討する。

【吉原】部活動は、子どもにとって勉強以外の活躍の場であり、大事な問題だが、運営主体が変われば、財政支

援や保護者支援が必要となるのではないか。

【町長】中学生のニーズに応えるべく、環境整備を考えていく。



子どもの部活動を支えたい

動画はQRコードからどうぞ

# 男性用トイレに汚物入れの設置を

町長 今後 設置していきたい



門脇輝明 議員

【門脇】高齢者や前立腺がん、膀胱がんの患者は術後、尿漏れが起きやすくなるため、尿漏れパッドを着用することが多い。

しかし、公共施設などの男性用トイレにはサンタリーボックス（汚物入れ）の設置が進んでおらず、パッドを外出先から自宅まで持ち帰らざるを得ない状況にある。

また、男性用トイレへのサンタリーボックスの設置は、トイレで幼児のおむつ替えをするお父さんや、身体は女性だが心は男性といったLGBTなど性的少



誰にとっても快適なトイレに

【町長】数者への配慮となる。また災害などでトイレが使用できなくなつた場合の汚物の一時保管容器として利用が可能である。

町内の全ての町有施設並びに公共的施設にサンタリーボックスの設置を進める考えは。

# 歩道が草だらけで通れない対応は

町長 国土交通省に要望を行う



西本憲人 議員

【町長】毎年要望しているがなかなか解決ができません。

【西本】シニアカー利用者は今後増えると思うがその対策は。

【町長】免許返納者も移動に不自由しないようにデマンドバスの利用券も渡している。

【西本】私も国土交通省に要望したら、対応してくれたが、予算がなく、担当者が枝切りばさみで切っていた。町の建設課・国土交通省・国会議員などに相談したが、いまだ現状は変わらない。



シニアカーにからみつく草

このほか、地球温暖化や再エネルギーの質問をしました。1問目の問題解決にもつながらる雑草を活用した発電の仕組みを提案したら、町民や事業者の意識付けにつながれば面白いとの返答がありました。

# 思いおぼけりに100万円を

教育長 ニーズを確認したい



近藤大介 議員

と有意義な活動をする時間が大きく損なわれている。

卒業までに、3年生の体験活動などに各校100万円程度の予算をつけてもらいたい。

【教育長】各学校と協議し、ニーズがあるか確認していきたい。

【近藤】今の中学3年生は、入学時からずっとコロナ対策の影響を受け、さまざまな行事や部活動など、仲間たち



コロナ禍に負けない絆を

このほか、漁業振興の課題について質問し、水産業振興の計画づくりを提案しました。

【教育長】当初は学力低下が心配されたが、今ではその影響はほとんどない。

一方で、学校内での問題行動がやや増えている印象はある。

【近藤】今の中学3年生は、入学時からずっとコロナ対策の影響を受け、さまざまな行事や部活動など、仲間たち

# 淀江インター跡地活用事業の今後は

町長 検討委員会で協議する



大原広巳 議員

【町長】考えた。【大原】大阪万博までに何かできないか。

【町長】残土処理に時間がかかるので難しいが、観光資源と連携できる施設をめざしたい。

【町長】山と海をつなぐ交流施設になれば、町の新たな拠点となる。

【大原】観光拠点をつなぐ集客施設か。

【町長】山と海をつなぐ交流施設になれば、町の新たな拠点となる。



西の玄関口の拠点としたい

このほか、肥料高騰対策として、町の再生協議会が柱となり推進することを確認しました。

【町長】山と海をつなぐ交流施設になれば、町の新たな拠点となる。

【大原】観光拠点をつなぐ集客施設か。

# 地域ポイントの導入を検討しないか

**町長** 事例調査や情報収集などはしている



【豊】本町では現在地域通貨・地域ポイントの導入は検討しているのか。  
【町長】導入予定はないが、いろいろな事例を調べたり、情報収集などはしている。  
【豊】地域通貨・地域ポイントを導入することによって、地域内での経済循環、新規事業者の参入補助金交付や、商品券配布などのコストが抑えられる。さまざまなメリットが挙げられるが、特に何が重要だと考えているか。  
【町長】地域内での経済循環というのが特に重要だと考えている。



地域ポイントで経済循環を

このほかに新型コロナウイルスウイルスに関して、本町から県や国に、2類感染症から5類に変更する要望を出さないかとの質問に、国で検討するものであって、状況を見て対応したいと答弁がありました。

# 町政運営がワンマンではないか

**町長** 各課との協議はできている



【小谷】議会で担当課長が説明に困る状況をよくみる。担当課が事業の目的や目指す成果を整理・消化できていないにもかかわらず「町長の指示だから取り組む」というワンマン経営の組織風土になっていないか。  
【町長】各課と協議をしながら進めている。私を含め職員にはもっとコミュニケーション力を求めていきたい。  
【小谷】町長と現場のつながり、部署をまたぐコーディネーター役として「町長室」のような部署が必要ではないか。  
【町長】その役割は、副町長個人に担ってもらいたい。



現場の声は届いているか

町長個人に担ってもらいたい。  
【小谷】副町長個人に頼ったやり方では、副町長が交代したら何も残らないのでは。外部のコンサルタント頼みではなく、自ら企画・実行・改善する役場組織をつくるには、組織として経験を蓄積できる体制を整えるべきではないか。  
【町長】引き続き組織が強くなるように、そのような仕組みも検討していきたい。

# 健康ポイント 制度の導入は

**町長** いろいろな情報を参考にしたい



【島田】健康診断受診者と健康づくり教室の参加者は。  
【町長】コロナの影響で減少した。令和3年度は、コロナ前の受診者数となったが健康づくり教室は実施できなかった。  
【島田】健康診断受診者や健康づくり教室、ヘルスアップセミナーの参加者を強化するための今後の取り組みは。  
【町長】勸奨動画の配信をしており、令和5年度はネット予約ができるようにシステム導入を考えている。

【島田】健康ポイントやアプリを活用して、健



自然の中でウォーキング

康検診や健康セミナーへの参加で、取得したポイントやデマンドバスや施設利用に使用する考えは。  
【町長】子どもたちの見守り活動と合わせた健康づくりとか、広がりのあるアイデアを取り込めるような地域ポイントなどのプラットフォームがあれば、さまざまな活用方法があると考えられる。いろいろな情報を参考にしたい。

# 本町から 平和の発信を

**町長** 定期的な展示をして啓発したい



【大森】戦後77年の今年の夏は、ウクライナ侵略で平和実現の思いをいっそう強くした。平和の心を育み平和の文化を創るために、取り組みを推進したらどうか。  
【町長】展示スペースなどの関係で常設展示は難しい。  
【教育長】時期に合わせて公民館などで特別展示をして平和の啓発はできる。



町内の戦災を物語る資料

【大森】原爆展を適切な時期、場所で開催しないか。  
【町長】平和や人権に関する定期的な展示は検討したい。  
【大森】「核兵器廃絶宣言の町」の標柱設置を。  
【町長】中山支所にあるので再設置はしない。

このほかに町外中学校への通学費補助を再度求めたが、前向きな答弁は得られませんでした。  
また、旧統一教会と国葬の問題について、町長の認識、町行政の接触の事実、対応について質問しました。

# 人口減少対策のさらなる充実を

**町長** 他の事例も参考にしながら取り組む



岡田 聡 議員

【岡田】婚活を民間だけに任せるのではなく、行政が積極的に関わり、婚姻率を上げる考えは。【町長】婚活イベントだけでは解決できない。希望する人が結婚できない課題の解決に努めたい。

【岡田】出産一時金の支給や、養育費の支給で、出生率向上のきっかけにできないか。【町長】一時的なインパクトのある事業で合計特殊出生率が上がっても、引越せられると人口は増えないことになる。本町では、子どもが大人になるまで幅広く



出会いの場を広げたい

このほか、物価高騰対策の質問をし、町長から物価高騰の状況により必要に応じて対策を検討していく。また肥料高騰緊急対策事業も今後進めていくとの回答がありました。

# 追跡

## 町民からの陳情採択のその後は？

令和3年12月

### ●塩津川の改修に関する陳情

令和4年2月に堆積物の撤去を行った。現在は、改修計画を県と協議中である。

### ●少子化対策として子育てと教育の経済的負担軽減を求める陳情

令和4年度より、町内全ての児童生徒を対象に給食費の無償化を実施している。養護学校・寺子屋・フリースクールなどに通学する児童生徒の保護者には、年度末に実績をもとに精算の予定である。

令和4年6月

### ●「とっとり森・里山等自然保育認証制度」に関する陳情

先に導入している自治体を参考にし、制度について検討している。早いうちに結論を出し方向性をお知らせしたい。



速やかな対応が望まれる塩津川

# おもと学級 議員と話そう

「おもと学級」とは…大山公民館の活動の一つ、おもと学級の名称は、植物の万年青(いつまでも青く若々しい)にちなんで名付けられました。大好きな大山町がもっと暮らしやすくなるために、日々の生活の中で感じていることを講座の一つとして話し合いました。

7月5日 10:00~12:00大山公民館で開催しました。

(質問カードをもとに多くの参加者からのご意見、ご要望を頂きました。)

参加者の皆さんからこのようなご意見がありました。

- 大きな施設を一つ作るより、図書館、集会所、食堂などの小さな拠点を沢山増やした方がいいのではないかな。
- 本町の歴史が詳細に示されている豪円和尚の本を大山チャンネルのスタッフにも読んでほしい。
- ドローン撮影などを活用して、町民を元気づける番組を増やしてほしい。
- 大山チャンネルで町内現場で働く人達の紹介をもっと増やせないかな。
- デマンドバスをもっと利用しやすくできないかな。
- 肥料や資材などの高騰をなんとかしてほしい。



大好きな大山町を語り合う

# 一目でわかる審議結果

7月臨時会  
9月定例会  
提出議案

## ○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大杖正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田 聡	野口俊明	結果
<b>9月定例会</b>																
令和3年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	賛成12人 認定
令和3年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成14人 認定
令和3年度大山町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	賛成13人 認定
令和3年度大山町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 認定
会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	賛成7人 不採択

## ○全会一致で議決した議案

7月臨時会 補正予算(2件)、損害賠償(2件)  
9月定例会 条例(3件)、決算認定(11件)、補正予算(6件)、発議(1件)  
議案の議決は、米本隆記議長を除く15人で行います。

# 特集 議長・副議長にきく

## ～政策提言のできる議会～



米本議長

大原副議長

今回の特集テーマは「政策提言」です。議会の主な役割は、議決・監視・政策提言の3つだと言われています。そのなかでも全国的に取り組みがなかなか進まないといわれる

政策提言について、大山町議会では現状どこまでできているのでしょうか？これまでの取り組みや課題について、米本議長、大原副議長の2人にインタビューをしました。

### 時代が変わった

まずは、なぜいま、議会による政策提言が重要なのかを教えてください。

米本：平成12年に地方分権一括法が施行されて、国と地方の役割分担が明確になったことが大きいですね。地方が自分で予算の使い道を決める時代になりました。議会も、住民の代表として使い道を積極的に提案をしていく必要があります。

大原：昔の議員は、自分の集落の困りごとを訴えて補助金をとってくるのが重要な仕事でした。でも、今は10集落に1人の割合しか議員がいません。自然と、広い視野が必要となり、町全体の政策を考えるようになっています。

### 実際には、どのような方法で政策提言をしていますか？

大原：神奈川県大磯町の先進事例を参考に、「事務事業評価」という取り組みを、令和元年度から始めました。この取り組みでは、特に重要だと思ふ事業を議会できくつかに絞り、予算を消化できているかどうかだけでなく、事業の意義や効果などに焦点をあてて評価をし、具体的な改善提案も提出するようになっています。

### 政策提言はむづかしい

なるほど。実際にやってみていかがですか？

米本：正直なところ、想像していた以上に難しいですね。議員ひとりひとりの視点や物差しが全然違うので、具体的な提案をするところまでなかなかもってけません。これまでに15の事業について議会による事務事業評価を実施しましたが、担当課と改善の方向性を合意できた事例は数少ないのが実情です。

大原：確かにまだ模索している状況ですね。しいて言えば、だいせんファンクラブに関する政策提言は、担当課や町長と課題認識を共有できた手ごたえがあります。今後、実践されるようにチェックしていきたいと思っています。（詳細は上の図を参照）

### 求められる議員の資質向上

今後にもけた課題は何ですか？

大原：今後も、事務事業評価を通じた政策提言は続けていきます。議員討論会でテーマを深掘りしたり、先進事例を行政視察するなど、議会の各種の取り組みを、点ではなく、線でつなげていきます。

米本：政策提言の目指すかたちとして、予算規模もセットで提案できるようにしたいです。この事業をこれからの予算でやりましよう、そのためにはこの事業をやめないと予算が足りないでしょ、と具体的に言えるようになりたいです。

大原：ひとつの目標として、事務事業評価や政策提言の結果、事業を廃止する、というところまで実現したいです。財源は限られています。廃止をしないかぎり、新たな取り組みもできません。

### 議員個人の資質向上が求められますね。

大原：議員は浅く広く知ることが大切ですが、農業に強い議員、観光に強い議員など、各議員が専門分野をもつことが重要です。いろいろな議員がいることで、議会全体としての総合力が高まります。

米本：地に足のついた政策提言をしていくためにも、普段から現場に足を運ぶなど、議員は常に住民生活にアンテナをはらわないといけません。昨年引き続き、議員が集落へ出向く機会も積極的につくりたいと思います。

活発な政策提言で大山町議会が全国の先進事例となるようにしたいですね。本日はありがとうございました。



## だいせんファンクラブの事例紹介

### だいせんファンクラブの目的

- 大山町出身の方、大山町に関心をお持ちの方々との交流を通じて大山町のPRを促進
- 県外における町のイメージアップ並びに情報交換の場

### ファンクラブ会員数

平成26年度末 176人 令和3年度末 172人

### 主な活動内容

- 「広報だいせん」「県政だより」、パンフレット等のふるさと情報を随時配布
- 交流会の実施（関東と関西で1年おきに開催）
- 令和3年度は、交流会の代わりに、希望者へ町特産品をお届け

### 議会による評価・提言

- 実態として、都会に住んでいる少数の大山町出身者コミュニティになっている。会員数も増えておらず、高齢化している。
- ふるさと納税の寄付者をターゲットにした施策や、SNSを利用したコミュニティづくり施策を検討しないか。

### 役場執行部の回答

ふるさと納税寄付者を対象としたファンクラブをつくっていききたい。SNSも活用していききたい。

議員と語る会の開催を希望する集落を募集します

時期：令和4年10月中旬頃から11月  
 \*ご希望の集落には、3人の議員を派遣して議員と語る会を開催します。  
 議会事務局やお近くの議員へお気軽にご相談ください。  
 議会事務局連絡先：0859-54-5213

行政視察

◆総務常任委員会（門脇、島田、米本、大森、西本）

時期／令和4年10月5日～10月7日  
 視察先／北海道 美瑛町・芽室町・浦幌町  
 視察内容／電子地域通貨による地域活性、議会改革の取り組み

◆教育民生常任委員会（森本、小谷、野口、岡田、近藤、吉原）

時期／令和4年11月17日～11月18日  
 視察先／岡山県早島町・和気町、島根県大田市など  
 視察内容／ボランティアポイントによる地域活性、山村留学など

◆経済建設常任委員会（大杖、豊、杉谷、大原、池田）

時期／令和4年11月16日～11月17日  
 視察先／愛媛県今治市、高知県高知市、徳島県板野町など  
 視察内容／地産地消と食育、楽しめる観光案内所、レンタサイクルなど

表紙の写真は  
 リノベーション補助金を  
 活用して、大山口駅前に  
 カフェをオープンした  
 福留さんご夫婦です。



視察の受け入れをしました

**6月23日 北海道訓子府町議会**  
 大山町議会のタブレット端末運用、議会だよりについて

**8月22日 鳥取県境港市議会**  
 大山町議会のタブレット端末運用について

コラム

議員の仕事ってなににするだ？

コラムページは普段感じているけど、なんとなく議員に直接聞きにくいことをわかりやすく伝えていくページです。

Q 大山町の議員って何人いるの？  
 人数はどうやって決まっているの？

A 16人います。

1期4年間で毎回立ち上がっている  
 『議会改革調査特別委員会』において全議員で  
 次の4年間の議員定数を話し合っています。

議員定数  
 合併前(旧3町合計)45人  
 平成17年 21人  
 平成21年 19人  
 平成25年 16人

※定数の考え方として人口比なのか、定数を減らして報酬を上げるのか  
 さまざまな意見を出し合っています。



第5次議会改革調査特別委員会  
 委員長 吉原美智恵 議員

議員定数・議会改革の取り組み状況の一部

年	月	取り組み
平成17年	3月	大山町・名和町・中山町の3町が合併し、「大山町」が誕生
	4月	大山町議会21人の選挙が行われた (3小選挙区制を導入～合併時のみ)
平成19年	9月	ケーブルテレビで議会中継開始 (定例会本会議のみ、生・録画放送共)
平成20年	6月	議会議員定数条例の制定(次期選挙より21人から19人に)
平成24年	12月	大山町議会議員定数条例の一部改正 (次期選挙より19人から16人に)
平成25年	1月	本会議(定例会・臨時会)のインターネット配信の本格稼働
令和3年	5月	議員活動にタブレットを導入



末宗 はる (名和中)

百	年
後	に
残	し
た	い
大	山
町	の
自	然

私が百年後に残したいものは「自然」です。

私が小さいころから好きだな、素敵だなと思っているのは、山と海ー大山と日本海ーが近くにあり、自然に恵まれているというところです。

春夏秋冬アウトドアが楽しめます。例えば、登山、スキー、海水浴、サイクリング。大山町が自然でいっぱいだからこそ楽しめること。これは大切にすべきことだと思います。私は、アウトドアが好きですが、家

の周りを歩くことも大好きです。季節を感じる事ができ、どんなに気持ちがいらいら立っていてもだんだん落ち着いてきます。そして、自然の力を感ずることが出来ます。私の好きな大山町の自然。百年後だけでなく、その後もずっと残していつほついで。



杉森 結吹 (大山中)

あ	い	さ	つ	で	つ	な	が
未	来	と	今	未	来	と	今

大山町には私の大好きなところがたくさんあります。豊かな自然、きれいな水、元気のせみや野鳥の声など。最近では、コンビニができたり、学校の前の田んぼが家が変わったり、便利になつてうれしい反面、緑が減り

残念な気持ちもあります。ときどき、外の空気をおもいつきり吸つと考えます。百年後、この町はどうなっているのかなと。都会になっているかも。人が少なくなっているかも。誰も未来のことは分かりません。

けれど、この町のあたたかさだけは変わってほしくありません。あいさつをすれば「おかえり」と返してくれる優しさが私の大好きな大山町の姿だからです。将来、ここは全く違う場所になるかもしれない。それでも、百年後の大山町の姿につながると信じて、あいさつを大切にしていきたいです。



太田 壮祐 (中山中)

地	域
の	踊
り	も

私は一〇〇年後の大山町で、いさい踊りが今よりも身近なものになつてほしいと願っています。なぜなら、あまり知られていないが、いさい踊りは小泉八雲が書籍に残すほど美しいものだからだ。

また、始まった時期は不明だが、少なくとも江戸時代後半から踊られてきたと考えられる、歴史ある踊りである。さらに、旧中山町はいさい踊り縁りの地であり、この踊りを広めるこ

とで、「中山町」があったことを後世に伝えることができる。では、いつしたらこの踊りを残せるのだろうか。私は、小学生までは運動会などで踊っていたが、中学生になると踊る機会がなくなつてしまった。だから、誰でも参加できるイベントを開けば、いさい踊りがもっと身近になるはずだ。

### はでかけとコスモス

## あとがき

今号の議会だよりは、決算審査に焦点があたりました。決算審査は「終わったこと」の点検です。

「終わったこと」よりも「これからのこと」の方が、どうしても注目は集まりやすいのですが、決算審査や事務事業評価を通じて、事業執行の結果、どれくらいの成果があったのか、その事業は本当に必要なかを吟味検討することで、次年度の予算審査や政策提言につながっていきます。

今号の決算に関する内容を読んで、皆さんも感じられたことがありますら、お近くの議員にお知らせください。

小谷

- 発行責任者 米本 隆記
- 広報常任委員会
- 委員長 池田 幸恵
  - 副委員長 西本 憲人
  - 委員 大原 広巳
  - 委員 近藤 大介
  - 委員 森本 貴之
  - 委員 島田 一恵
  - 委員 豊 哲也
  - 委員 小谷 英介